

# 基盤地図情報：投資を凍死から守る処方箋 CAD

GIS 大縮尺空間データ官民共有化推進協議会 支援グループ

## キーワード

位置の基準、基盤地図情報、スパイラルアップ、資産の有効活用

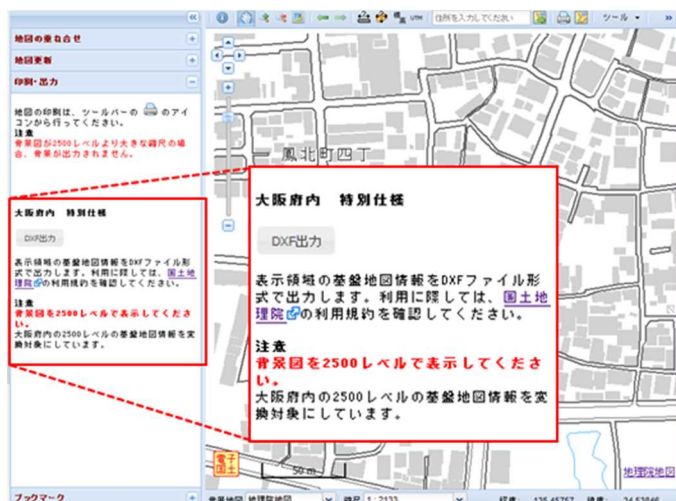
地理院地図(電子国土 Web)上で任意表示された範囲の基盤地図情報を街区基準点と共に CAD で利用できる DXF ファイルに変換してダウンロードすることができます。

この DXF ファイルを建築物の確認申請や登記の背景地形に、又、工事には道路等のレイヤを直接修正して計画図を作成することで、日常の業務の中で作成する CAD 図面を簡易に基盤地図情報の更新元データとして活用することを可能にします。

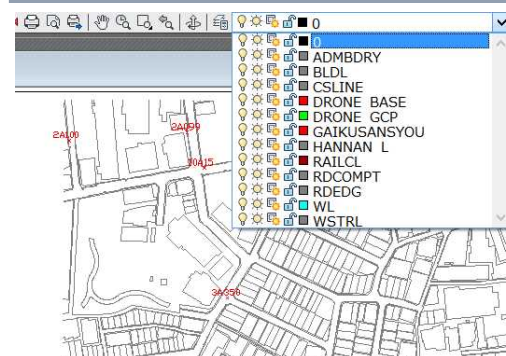
莫大な投資をして実現した基盤地図情報を、現状に留める(凍死させる)ことなく、位置の基準に対応した地理空間情報のスパイラルアップの標準化(処方箋)し、横断的な連携により GIS の高度な利活用の実現をめざしています。

## DXF ファイルの取得

- ① 住所検索などで対象地域を選択
- ② 対象区域が確定したら[DXF 出力]のボタンをクリック  
(1/2500 パル以上で)
- ③ ダウンロードして、表示又は保存

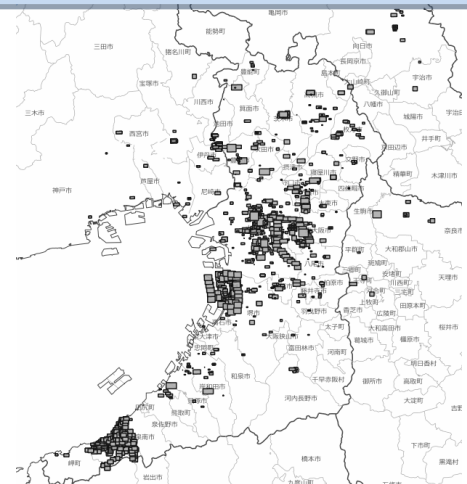


## 出力例



基盤地図情報の地物構成と同じレイヤ構成 + 街区基準点のダウンロード・データ

## 利用実績



\*\* 私たち思い \*\*

GIS や CAD を利用して仕事をされている多くの皆さんに、  
基盤地図情報を日常的に活用して頂くことを願っています。